

よくわかるマスター 日商 PC 検定試験 データ活用 2 級 公式テキスト&問題集

Excel 2010 用補足資料

「よくわかるマスター 日商 PC 検定試験 データ活用 2 級 公式テキスト&問題集」(型番:FPT1512)は、Windows 8.1 環境の Excel 2013 で学習する場合の操作手順を掲載しています。Windows 7 環境の Excel 2010 で学習する場合の操作手順の違いについては、次のとおりです。

頁	章	見出し	学習時の注意事項
P.8	本書をご利用いただく前に	6 学習ファイルのダウンロードについて	<p>「◆ダウンロードしたファイルの解凍」の操作手順⑦を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>⑦《(ユーザー名)》の《マイドキュメント》をクリックします。 ※《マイドキュメント》が表示されていない場合は、《(ユーザー名)》をクリックします。</p>
P.9	本書をご利用いただく前に	6 学習ファイルのダウンロードについて	<p>「◆学習ファイルの確認」の 2 行目の文章を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>タスクバーの《エクスプローラー》→《ライブラリ》→《ドキュメント》をクリックし、一覧からフォルダーを開いて確認しましょう。</p>
P.132	第 6 章 ピボットテーブルの活用	STEP2 集計データの準備	<p>「Let's Try テキストファイルのインポート」の操作手順⑥を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>⑥《外部データの取り込み》グループの《テキストファイルから外部データを取り込み》をクリックします。</p>
P.137	第 6 章 ピボットテーブルの活用	STEP3 ピボットテーブルの作成	<p>「Let's Try ピボットテーブルの作成」の操作手順③を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>③《テーブル》グループの《ピボットテーブルの挿入》をクリックします。</p>
P.138	第 6 章 ピボットテーブルの活用	STEP3 ピボットテーブルの作成	<p>「Let's Try ピボットテーブルの作成」の操作手順⑧～⑨を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>シート「Sheet1」が挿入され、《ピボットテーブルのフィールドリスト》作業ウィンドウが表示されます。 ⑧《ピボットテーブルのフィールドリスト》作業ウィンドウの「販売店」を《列ラベル》のボックスにドラッグします。 ⑨「販売単価(円)」を《行ラベル》のボックスにドラッグします。</p>
P.139	第 6 章 ピボットテーブルの活用	STEP3 ピボットテーブルの作成	<p>「操作のポイント データの更新」の最後の一文を、次の文章に置き換えてください。</p> <p>ピボットテーブルを更新するには、《オプション》タブ→《データ》グループの《更新》を使います。</p>
P.139	第 6 章 ピボットテーブルの活用	STEP3 ピボットテーブルの作成	<p>「Let's Try フィールドのグループ化」の操作手順②～③を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>②《オプション》タブを選択します。 ③《グループ》グループの《グループフィールド》をクリックします。</p>
P.140	第 6 章 ピボットテーブルの活用	STEP3 ピボットテーブルの作成	<p>「操作のポイント グループ化の解除」の操作手順を、次の手順に置き換えてください。</p>

頁	章	見出し	学習時の注意事項
			◆列ラベルエリアまたは行ラベルエリアのセルを選択→《オプション》タブ→《グループ》グループの《グループ解除》
P.141	第6章 ピボットテーブルの 活用	STEP3 ピボットテーブルの作成	「Let's Try 空白セルに値を表示」の操作手順②を、次の手順に置き換えてください。 ②《オプション》タブを選択します。
P.144	第6章 ピボットテーブルの 活用	STEP4 ピボットテーブルの編集	「Let's Try レイアウトの変更」の操作手順③を、次の手順に置き換えてください。 ③《ピボットテーブルのフィールドリスト》作業ウィンドウの「商品コード」を《行ラベル》のボックスの「販売単価(円)」の下にドラッグします。
P.145	第6章 ピボットテーブルの 活用	STEP4 ピボットテーブルの編集	「Let's Try フィールドの削除」の操作手順①を、次の手順に置き換えてください。 ①《ピボットテーブルのフィールドリスト》作業ウィンドウの《行ラベル》のボックスの「販売単価(円)」をクリックします。
P.145	第6章 ピボットテーブルの 活用	STEP4 ピボットテーブルの編集	「操作のポイント その他の方法(フィールドの削除)」の操作を、次の手順に置き換えてください。 ◆《ピボットテーブルのフィールドリスト》作業ウィンドウのフィールド名をオフにする ◆《ピボットテーブルのフィールドリスト》作業ウィンドウのボックス内のフィールド名をボックス以外の場所にドラッグ
P.145	第6章 ピボットテーブルの 活用	STEP4 ピボットテーブルの編集	「操作のポイント フィールドの入れ替え」の内容を、次の文章に置き換えてください。 《ピボットテーブルのフィールドリスト》作業ウィンドウに配置したフィールドは、別のエリアのボックスにドラッグすることで入れ替えができます。
P.146	第6章 ピボットテーブルの 活用	STEP4 ピボットテーブルの編集	「操作のポイント 《値》フィールド」の2文目以降の内容を、次の文章に置き換えてください。 縦方向(行単位)で表示したい場合は、《ピボットテーブルのフィールドリスト》作業ウィンドウの《列ラベル》のボックスにある《値》フィールドを、《行ラベル》のボックスに移動します。 《値》フィールドは、値エリアに複数のフィールドを配置すると、自動的に表示されます。
P.147	第6章 ピボットテーブルの 活用	STEP4 ピボットテーブルの編集	「Let's Try 表形式で表示」の操作手順①を、次の手順に置き換えてください。 ①《ピボットテーブルのフィールドリスト》作業ウィンドウの「商品名」を《行ラベル》のボックスの「商品コード」の下にドラッグします。
P.150	第6章 ピボットテーブルの 活用	STEP4 ピボットテーブルの編集	「Let's Try 販売店ごとの売上構成比の表示」の操作手順①を、次の手順に置き換えてください。 ①《ピボットテーブルのフィールドリスト》作業ウィンドウの《値》のボックスの「売上高(円)」をクリックします。

頁	章	見出し	学習時の注意事項
P.151	第6章 ピボットテーブルの活用	STEP4 ピボットテーブルの編集	<p>「操作のポイント その他の方法(集計方法の変更)」の操作手順を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>◆値エリアのセルを選択→《オプション》タブ→《アクティブなフィールド》グループの《フィールドの設定》→《集計方法》タブ/《計算の種類》タブ</p>
P.151	第6章 ピボットテーブルの活用	STEP4 ピボットテーブルの編集	<p>「操作のポイント 計算の種類解除」の操作手順を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>◆《ピボットテーブルのフィールドリスト》作業ウィンドウの《値》ボックスのフィールド→《値フィールドの設定》→《計算の種類》タブ→《計算の種類》の▼→一覧から《計算なし》を選択</p>
P.155	第6章 ピボットテーブルの活用	STEP4 ピボットテーブルの編集	<p>「操作のポイント スライサーの挿入」の操作手順を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>◆ピボットテーブル内のセルを選択→《オプション》タブ→《並べ替えとフィルター》グループの《スライサーの挿入》</p>
P.157	第6章 ピボットテーブルの活用	STEP4 ピボットテーブルの編集	<p>「Let's Try 項目の移動」の操作手順⑤の※を、次の内容に置き換えてください。</p> <p>※ドラッグ中、灰色の線が表示され、移動先が確認できます。</p>
P.166	第7章 グラフの活用	STEP3 レーダーチャートの作成	<p>「Let's Try グラフの作成」の操作手順③を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>③《グラフ》グループの《その他のグラフ》をクリックします。</p>
P.168	第7章 グラフの活用	STEP3 レーダーチャートの作成	<p>「2 グラフの移動とサイズ変更」の下の文章の3文目を、次の内容に置き換えてください。</p> <p>グラフのサイズを変更するには、グラフの角をポイントし、マウスポインターの形が矢印の状態ドラッグします。</p>
P.171	第7章 グラフの活用	STEP3 レーダーチャートの作成	<p>「Let's Try グラフタイトルの入力」では、最初にグラフタイトルを追加する必要があります。</p> <p>グラフタイトルを追加する場合は、次の操作を行ってください。</p> <p>①グラフが選択されていることを確認します。 ②《レイアウト》タブを選択します。 ③《ラベル》グループの《グラフタイトル》をクリックします。 ④《グラフの上》をクリックします。</p> <p>以降、操作手順①から操作を続けてください。</p>
P.172	第7章 グラフの活用	STEP3 レーダーチャートの作成	<p>「操作のポイント グラフタイトルの非表示」の操作手順を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>◆グラフを選択→《レイアウト》タブ→《ラベル》グループの《グラフタイトル》→《なし》</p>

頁	章	見出し	学習時の注意事項
P.172	第7章 グラフの活用	STEP3 レーダーチャートの作成	<p>「Let's Try 凡例を下に移動」の操作手順②～⑤を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>②《レイアウト》タブを選択します。 ③《ラベル》グループの《凡例》をクリックします。 ④《凡例を下に配置》をクリックします。</p>
P.172	第7章 グラフの活用	STEP3 レーダーチャートの作成	<p>「操作のポイント 凡例の非表示」の操作手順を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>◆グラフを選択→《レイアウト》タブ→《ラベル》グループの《凡例》→《なし》</p>
P.173	第7章 グラフの活用	STEP3 レーダーチャートの作成	<p>「Let's Try 値軸の最大値の変更」の操作手順④～⑧を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>《軸の書式設定》ダイアログボックスが表示されます。 ④左側の一覧から《軸のオプション》を選択します。 ⑤《最大値》の固定をオンにし、「10」と入力します。 ⑥《閉じる》をクリックします。</p>
P.174	第7章 グラフの活用	STEP3 レーダーチャートの作成	<p>「操作のポイント グラフ要素の選択」の操作手順を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>◆グラフを選択→《書式》タブまたは《レイアウト》タブ→《現在の選択範囲》グループの《グラフの要素》の▼→一覧から選択</p>
P.175	第7章 グラフの活用	STEP4 散布図の作成	<p>「Let's Try グラフの作成」の操作手順④～⑤を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>④《グラフ》グループの《散布図》をクリックします。 ⑤《散布図》の《散布図(マーカーのみ)》をクリックします。</p> <p>※Excel2010 では、グラフを作成すると凡例が表示されます。また、縦軸の目盛り線は表示されません。</p>
P.177	第7章 グラフの活用	STEP4 散布図の作成	<p>「Let's Try グラフタイトルの入力」では、最初にグラフタイトルを追加する必要があります。 グラフタイトルを追加する場合は、次の操作を行ってください。</p> <p>①グラフが選択されていることを確認します。 ②《レイアウト》タブを選択します。 ③《ラベル》グループの《グラフタイトル》をクリックします。 ④《グラフの上》をクリックします。</p> <p>以降、操作手順①から操作を続けてください。</p>
P.178	第7章 グラフの活用	STEP4 散布図の作成	<p>「Let's Try 横軸の最小値・縦軸の最大値の変更」の操作手順④～⑪を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>《軸の書式設定》ダイアログボックスが表示されます。 ④左側の一覧から《軸のオプション》を選択します。 ⑤《最小値》の固定をオンにし、「15」と入力します。 ⑥縦軸を選択します。 ※《軸の書式設定》ダイアログボックスは表示したままかまいません。</p>

頁	章	見出し	学習時の注意事項
			<p>※ポップヒントに《縦(値)軸》と表示されていることを確認してクリックしましょう。</p> <p>《軸の書式設定》ダイアログボックスが縦軸の設定に切り替わります。</p> <p>⑦《軸の書式設定》ダイアログボックスの左側の一覧から《軸のオプション》を選択します。</p> <p>⑧《最大値》の固定をオンにし、「60000」と入力します。</p> <p>⑨《閉じる》をクリックします。</p>
P.179	第7章 グラフの活用	STEP4 散布図の作成	<p>「Let's Try 横軸に軸ラベルを追加」の操作手順②～⑤を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>②《レイアウト》タブを選択します。</p> <p>③《ラベル》グループの《軸ラベル》をクリックします。</p> <p>④《主横軸ラベル》をポイントします。</p> <p>⑤《軸ラベルを軸の下に配置》をクリックします。</p>
P.181	第7章 グラフの活用	STEP4 散布図の作成	<p>「Let's Try 縦軸に軸ラベルを追加・軸ラベルの書式設定」の操作手順②～⑤を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>②《レイアウト》タブを選択します。</p> <p>③《ラベル》グループの《軸ラベル》をクリックします。</p> <p>④《主縦軸ラベル》をポイントします。</p> <p>⑤《軸ラベルを水平に配置》をクリックします。</p> <p>以降、⑥から操作を続けてください。</p> <p>操作手順⑩～⑰を削除してください。</p> <p>以降、⑱から操作を続けてください。</p>
P.187	第7章 グラフの活用	STEP5 Zチャートの作成	<p>「Let's Try グラフの作成」の操作手順③を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>③《グラフ》グループの《折れ線》をクリックします。</p>
P.189	第7章 グラフの活用	STEP5 Zチャートの作成	<p>「Let's Try グラフタイトルの入力」では、最初にグラフタイトルを追加する必要があります。</p> <p>グラフタイトルを追加する場合は、次の操作を行ってください。</p> <p>①グラフが選択されていることを確認します。</p> <p>②《レイアウト》タブを選択します。</p> <p>③《ラベル》グループの《グラフタイトル》をクリックします。</p> <p>④《グラフの上》をクリックします。</p> <p>以降、操作手順①から操作を続けてください。</p>
P.189	第7章 グラフの活用	STEP5 Zチャートの作成	<p>「Let's Try 凡例を右に移動」の操作手順②～⑤を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>②《レイアウト》タブを選択します。</p> <p>③《ラベル》グループの《凡例》をクリックします。</p> <p>④凡例の位置を選択します。</p> <p>※Excel2010 では、グラフを作成すると、凡例がグラフの右に配置されます。必要に応じて、適宜位置を変更してください。</p>

頁	章	見出し	学習時の注意事項
P.189	第7章 グラフの活用	STEP5 Zチャートの作成	<p>「Let's Try 軸ラベルの追加・軸ラベルの書式設定」の操作手順②～⑤を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>②《レイアウト》タブを選択します。 ③《ラベル》グループの《軸ラベル》をクリックします。 ④《主縦軸ラベル》をポイントします。 ⑤《軸ラベルを水平に配置》をクリックします。 以降、⑥から操作を続けてください。</p> <p>操作手順⑩～⑰を削除してください。 以降、⑱から操作を続けてください。</p>
P.195	第7章 グラフの活用	STEP6 パレート図の作成	<p>「2 パレート図の作成」の操作手順④を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>④《グラフ》グループの《縦棒》をクリックします。</p>
P.196	第7章 グラフの活用	STEP6 パレート図の作成	<p>「Let's Try グラフの種類の変更と第2軸の追加」の操作手順③～⑩を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>③《現在の選択範囲》グループの《グラフの要素》の▼をクリックし、一覧から「系列」構成比累計(%)」を選択します。 「系列」構成比累計(%)」のデータ系列が選択されます。 ④《現在の選択範囲》グループの《選択対象の書式設定》をクリックします。 《データ系列の書式設定》ダイアログボックスが表示されます。 ⑤左側の一覧から《系列のオプション》を選択します。 ⑥《使用する軸》の《第2軸》をオンにします。 ⑦《閉じる》をクリックします。 ⑧《デザイン》タブを選択します。 ⑨《種類》グループの《グラフの種類の変更》をクリックします。 ⑩左側の一覧から《折れ線》を選択します。 ⑪《折れ線》の《折れ線》をクリックします。 ⑫《OK》をクリックします。</p>
P.198	第7章 グラフの活用	STEP6 パレート図の作成	<p>「Let's Try グラフタイトルの入力」では、最初にグラフタイトルを追加する必要があります。 グラフタイトルを追加する場合は、次の操作を行ってください。</p> <p>①グラフが選択されていることを確認します。 ②《レイアウト》タブを選択します。 ③《ラベル》グループの《グラフタイトル》をクリックします。 ④《グラフの上》をクリックします。</p> <p>以降、操作手順①から操作を続けてください。</p>
P.198	第7章 グラフの活用	STEP6 パレート図の作成	<p>「Let's Try 凡例の非表示」の操作手順②～⑤を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>②《レイアウト》タブを選択します。 ③《ラベル》グループの《凡例》をクリックします。 ④《なし》をクリックします。</p>

頁	章	見出し	学習時の注意事項
P.199	第7章 グラフの活用	STEP6 パレートの作成	<p>「Let's Try 第2軸の最大値の変更」の操作手順④～⑧を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>《軸の書式設定》ダイアログボックスが表示されます。</p> <p>④左側の一覧から《軸のオプション》を選択します。</p> <p>⑤《最大値》の固定をオンにし、「100」と入力します。</p> <p>⑥《閉じる》をクリックします。</p>
P.199	第7章 グラフの活用	STEP6 パレートの作成	<p>「Let's Try 軸ラベルの追加・軸ラベルの書式設定」の操作手順②～⑤を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>②《レイアウト》タブを選択します。</p> <p>③《ラベル》グループの《軸ラベル》をクリックします。</p> <p>④《主縦軸ラベル》をポイントします。</p> <p>⑤《軸ラベルを水平に配置》をクリックします。</p> <p>以降、⑥から操作を続けてください。</p> <p>操作手順⑩～⑬を削除してください。</p> <p>以降、⑭から操作を続けてください。</p> <p>操作手順⑳を削除してください。</p>
別冊 P.10	確認問題 解答と解説	第6章 ピボットテーブルの活用	<p>問題 1「●ピボットテーブルの作成(時間帯ごとの数量の集計)」の操作手順④を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>④《テーブル》グループの《ピボットテーブルの挿入》をクリックします。</p>
別冊 P.10	確認問題 解答と解説	第6章 ピボットテーブルの活用	<p>問題 1「●ピボットテーブルの作成(時間帯ごとの数量の集計)」の操作手順⑨～⑫を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>⑨《ピボットテーブルのフィールドリスト》作業ウィンドウの「受付時間」を《行ラベル》のボックスにドラッグします。</p> <p>⑩セル【A4】を選択します。</p> <p>※行ラベルエリアの「受付時間」のセルであれば、どこでもかまいません。</p> <p>⑪《オプション》タブを選択します。</p> <p>⑫《グループ》グループの《グループフィールド》をクリックします。</p>
別冊 P.10	確認問題 解答と解説	第6章 ピボットテーブルの活用	<p>問題 1「●ピボットテーブルの作成(時間帯ごとの数量の集計)」の操作手順⑯を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>⑯《ピボットテーブルのフィールドリスト》作業ウィンドウの「カテゴリ」を《列ラベル》のボックスにドラッグします。</p>
別冊 P.10	確認問題 解答と解説	第6章 ピボットテーブルの活用	<p>問題 1「●ピボットテーブルの作成(時間帯ごとの数量の集計)」の操作手順⑳の※の内容を、次の文章に置き換えてください。</p> <p>※ドラッグ中、灰色の線が表示され、移動先が確認できます。</p>
別冊 P.10	確認問題 解答と解説	第6章 ピボットテーブルの活用	<p>問題 1「●ピボットテーブルの作成(時間帯ごとの数量の集計)」の操作手順㉒を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>㉒《ピボットテーブルのフィールドリスト》作業ウィンドウの「数量」を《値》のボックスにドラッグします。</p>

頁	章	見出し	学習時の注意事項
別冊 P.10	確認問題 解答と解説	第6章 ピボットテーブルの活用	問題 1「●空白セルに「0」を表示」の操作手順②を、次の手順に置き換えてください。 ②《オプション》タブを選択します。
別冊 P.11	確認問題 解答と解説	第6章 ピボットテーブルの活用	問題 2「●ピボットテーブルの作成(時間帯ごとの売上金額の比率の集計)」の操作手順④を、次の手順に置き換えてください。 ④《テーブル》グループの《ピボットテーブルの挿入》をクリックします。
別冊 P.11	確認問題 解答と解説	第6章 ピボットテーブルの活用	問題 2「●ピボットテーブルの作成(時間帯ごとの売上金額の比率の集計)」の操作手順⑨～⑩を、次の手順に置き換えてください。 ⑨《ピボットテーブルのフィールドリスト》作業ウィンドウの「受付時間」を《行ラベル》のボックスにドラッグします。 ⑩《ピボットテーブルのフィールドリスト》作業ウィンドウの「売上金額」を《値》のボックスにドラッグします。
別冊 P.14	確認問題 解答と解説	第7章 グラフの活用	「解答のポイント ポイント 3」の内容を、次の文章に置き換えてください。 縦軸の単位を千円にするには、《軸の書式設定》ダイアログボックスにおいて《表示形式》を設定します。
別冊 P.14	確認問題 解答と解説	第7章 グラフの活用	問題 1「●折れ線グラフの作成(Zチャート)」の操作手順④を、次の手順に置き換えてください。 ④《グラフ》グループの《折れ線》をクリックします。
別冊 P.14	確認問題 解答と解説	第7章 グラフの活用	問題 1「●グラフタイトルの入力」では、最初にグラフタイトルを追加する必要があります。 グラフタイトルを追加する場合は、次の操作を行ってください。 ①グラフが選択されていることを確認します。 ②《レイアウト》タブを選択します。 ③《ラベル》グループの《グラフタイトル》をクリックします。 ④《グラフの上》をクリックします。 以降、操作手順①から操作を続けてください。
別冊 P.14	確認問題 解答と解説	第7章 グラフの活用	問題 1「●凡例の配置」の操作手順②～⑤を、次の手順に置き換えてください。 ②《レイアウト》タブを選択します。 ③《ラベル》グループの《凡例》をクリックします。 ④《凡例を右に配置》をクリックします。
別冊 P.14	確認問題 解答と解説	第7章 グラフの活用	問題 1「●値軸の設定」の操作手順④～⑨を、次の手順に置き換えてください。 ④《軸の書式設定》ダイアログボックスの左側の一覧から《軸のオプション》を選択します。 ⑤《表示単位》の▼をクリックし、一覧から《千》を選択します。 ⑥《表示単位のラベルをグラフに表示する》がオンになっていることを確認します。

頁	章	見出し	学習時の注意事項
			⑦《閉じる》をクリックします。
別冊 P.15	確認問題 解答と解説	第7章 グラフの活用	<p>問題1「●表示単位ラベルの設定」の操作手順⑦～⑪を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>⑦《表示単位ラベルの書式設定》ダイアログボックスの左側の一覧から《配置》を選択します。</p> <p>⑧《文字列の方向》の▼をクリックし、一覧から《横書き》を選択します。</p> <p>⑨《閉じる》をクリックします。</p> <p>以降、⑫から操作を続けてください。</p>
別冊 P.15	確認問題 解答と解説	第7章 グラフの活用	<p>問題2「●複合グラフの作成(パレート図)」の操作手順④～⑯を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>④《グラフ》グループの《縦棒》をクリックします。</p> <p>⑤《2-D 縦棒》の《集合縦棒》をクリックします。</p> <p>⑥グラフの横軸(項目軸)に「商品名」が表示されていることを確認します。</p> <p>⑦グラフが選択されていることを確認します。</p> <p>⑧《書式》タブを選択します。</p> <p>⑨《現在の選択範囲》グループの《グラフの要素》の▼をクリックし、一覧から「系列」構成比率累計(%)」を選択します。</p> <p>⑩《現在の選択範囲》グループの《選択対象の書式設定》をクリックします。</p> <p>⑪《データ系列の書式設定》ダイアログボックスの左側の一覧から《系列のオプション》を選択します。</p> <p>⑫《使用する軸》の《第2軸》をオンにします。</p> <p>⑬《閉じる》をクリックします。</p> <p>⑭《デザイン》タブを選択します。</p> <p>⑮《種類》グループの《グラフの種類の変更》をクリックします。</p> <p>⑯左側の一覧から《折れ線》を選択します。</p> <p>⑰《折れ線》の《折れ線》をクリックします。</p> <p>⑱《OK》をクリックします。</p>
別冊 P.16	確認問題 解答と解説	第7章 グラフの活用	<p>問題2「●グラフタイトルの入力」では、最初にグラフタイトルを追加する必要があります。</p> <p>グラフタイトルを追加する場合は、次の操作を行ってください。</p> <p>①グラフが選択されていることを確認します。</p> <p>②《レイアウト》タブを選択します。</p> <p>③《ラベル》グループの《グラフタイトル》をクリックします。</p> <p>④《グラフの上》をクリックします。</p> <p>以降、操作手順①から操作を続けてください。</p>
別冊 P.16	確認問題 解答と解説	第7章 グラフの活用	<p>問題2「●凡例の非表示」の操作手順②～⑤を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>②《レイアウト》タブを選択します。</p> <p>③《ラベル》グループの《凡例》をクリックします。</p> <p>④《なし》をクリックします。</p>
別冊 P.16	確認問題 解答と解説	第7章 グラフの活用	<p>問題2「●値軸の設定」の操作手順④～⑪を、次の手順に置き換えてください。</p>

頁	章	見出し	学習時の注意事項
			<p>④《軸の書式設定》ダイアログボックスの左側の一覧から《軸のオプション》を選択します。</p> <p>⑤《最大値》の固定をオンにし、「2500000」と入力します。 ※入力を確定すると「2.5E7」と表示されます。</p> <p>⑥第2軸を選択します。 ※《軸の書式設定》ダイアログボックスが第2軸の設定に切り替わります。</p> <p>⑦《軸の書式設定》ダイアログボックスの左側の一覧から《軸のオプション》を選択します。</p> <p>⑧《最大値》の固定をオンにし、「100」と入力します。</p> <p>⑨《閉じる》をクリックします。</p>
別冊 P.16	確認問題 解答と解説	第7章 グラフの活用	<p>問題2「●軸ラベルの設定」の操作手順②～⑤を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>②《レイアウト》タブを選択します。</p> <p>③《ラベル》グループの《軸ラベル》をクリックします。</p> <p>④《主縦軸ラベル》をポイントします。</p> <p>⑤《軸ラベルを水平に配置》をクリックします。 以降、⑥から操作を続けてください。</p> <p>操作手順⑨～⑮を削除してください。 以降、⑯から操作を続けてください。</p> <p>操作手順⑱を削除してください。 ⑱の下の※の操作を続けてください。</p>
別冊 P.16	確認問題 解答と解説	第7章 グラフの活用	<p>問題3「●散布図の作成」の操作手順④～⑤を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>④《グラフ》グループの《散布図》をクリックします。</p> <p>⑤《散布図》の《散布図(マーカーのみ)》をクリックします。</p> <p>⑥《デザイン》タブを選択します。</p> <p>⑦《グラフのレイアウト》グループの《その他》をクリックします。</p> <p>⑧《レイアウト 8》をクリックします。</p> <p>※Excel2010 では、グラフを作成すると凡例が表示されます。また、縦軸の目盛り線は表示されません。 ※グラフのレイアウトのレイアウト 8 を選択するのは、縦軸の目盛り線を表示するためです。</p>
別冊 P.17	確認問題 解答と解説	第7章 グラフの活用	<p>問題3「●凡例の非表示」では、次の操作を行ってください。</p> <p>①グラフが選択されていることを確認します。</p> <p>②《レイアウト》タブを選択します。</p> <p>③《ラベル》グループの《凡例》をクリックします。</p> <p>④《なし》をクリックします。</p>
別冊 P.17	確認問題 解答と解説	第7章 グラフの活用	<p>問題3「●軸ラベルの設定」の操作手順②～⑤を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>②《レイアウト》タブを選択します。</p> <p>③《ラベル》グループの《軸ラベル》をクリックします。</p>

頁	章	見出し	学習時の注意事項
			<p>④《主横軸ラベル》をポイントします。</p> <p>⑤《軸ラベルを軸の下に配置》をクリックします。</p>
別冊 P.17	確認問題 解答と解説	第7章 グラフの活用	<p>問題3「●軸ラベルの設定」の操作手順⑩～⑲を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>⑩《ラベル》グループの《軸ラベル》をクリックします。</p> <p>⑪《主縦軸ラベル》をポイントします。</p> <p>⑫《軸ラベルを水平に配置》をクリックします。</p> <p>以降、⑬から操作を続けてください。</p> <p>操作手順⑯～⑲は削除してください。</p> <p>以降、⑳から操作を続けてください。</p>
別冊 P.17	確認問題 解答と解説	第7章 グラフの活用	<p>問題3「●値軸の設定」の操作手順④～⑮を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>④《軸の書式設定》ダイアログボックスの左側の一覧から《軸のオプション》を選択します。</p> <p>⑤《最小値》の固定をオンにし、「20」と入力します。</p> <p>⑥《最大値》が「50.0」になっていることを確認します。</p> <p>⑦《目盛間隔》の固定をオンにし、「15」と入力します。</p> <p>⑧横軸を選択します。</p> <p>※《軸の書式設定》ダイアログボックスが横軸の設定に切り替わります。</p> <p>⑨《軸の書式設定》ダイアログボックスの左側の一覧から《軸のオプション》を選択します。</p> <p>⑩《最小値》が「0.0」になっていることを確認します。</p> <p>⑪《最大値》の固定をオンにし、「25000000」と入力します。</p> <p>⑫《目盛間隔》の固定をオンにし、「12500000」と入力します。</p> <p>⑬《閉じる》をクリックします。</p>
別冊 P.17	確認問題 解答と解説	第7章 グラフの活用	<p>問題3「●データラベルの表示」の操作手順②～⑤を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>②《レイアウト》タブを選択します。</p> <p>③《ラベル》グループの《データラベル》をクリックします。</p> <p>④《上》をクリックします。</p>
別冊 P.19	第1回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>「解答のポイント ポイント 3」の最後の一文を、次の内容に置き換えてください。</p> <p>縦方向（行単位）で表示したい場合は、《ピボットテーブルのフィールドリスト》作業ウィンドウの《列ラベル》のボックスにある《値》フィールドを《行ラベル》のボックスに移動します。</p>
別冊 P.21	第1回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題 1「●ピボットテーブルの作成（性別年代別の売上高・売上原価の集計）」の操作手順③を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>③《テーブル》グループの《ピボットテーブルの挿入》をクリックします。</p>

頁	章	見出し	学習時の注意事項
別冊 P.21	第1回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題 1「●ピボットテーブルの作成(性別年代別の売上高・売上原価の集計)」の操作手順⑧～⑬を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>⑧《ピボットテーブルのフィールドリスト》作業ウィンドウの「性別」を《列ラベル》のボックスにドラッグします。</p> <p>⑨列ラベルエリアの▼をクリックし、一覧から《降順》を選択します。</p> <p>※性別の順序が逆になります。</p> <p>⑩《ピボットテーブルのフィールドリスト》作業ウィンドウの「年齢」を《列ラベル》のボックスの「性別」の下にドラッグします。</p> <p>⑪セル【A5】を選択します。</p> <p>⑫《オプション》タブを選択します。</p> <p>⑬《グループ》グループの《グループフィールド》をクリックします。</p>
別冊 P.21	第1回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題 1「●ピボットテーブルの作成(性別年代別の売上高・売上原価の集計)」の操作手順⑰～⑳を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>⑰《ピボットテーブルのフィールドリスト》作業ウィンドウの「売上高」を《値》のボックスにドラッグします。</p> <p>⑱「売上原価」を《値》のボックスの「売上高」の下にドラッグします。</p> <p>⑲「売上高」と「売上原価」の集計方法が《合計》になっていることを確認します。</p> <p>⑳《列ラベル》のボックスにある《値》フィールドを《行ラベル》のボックスにドラッグします。</p> <p>※《値》フィールドが表示されていない場合は、《列ラベル》のボックスをスクロールします。</p>
別冊 P.21	第1回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題 2「●ピボットテーブルの作成(販売コーナー「洋食」の売上高・売上原価の集計)」の操作手順④を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>④《テーブル》グループの《ピボットテーブルの挿入》をクリックします。</p>
別冊 P.21	第1回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題 2「●ピボットテーブルの作成(販売コーナー「洋食」の売上高・売上原価の集計)」の操作手順⑨～⑪を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>⑨《ピボットテーブルのフィールドリスト》作業ウィンドウの「商品コード」を《行ラベル》のボックスにドラッグします。</p> <p>⑩「商品名」を《行ラベル》のボックスの「商品コード」の下にドラッグします。</p> <p>⑪「販売コーナー」を《行ラベル》のボックスの「商品名」の下にドラッグします。</p>
別冊 P.21	第1回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題 2「●ピボットテーブルの作成(販売コーナー「洋食」の売上高・売上原価の集計)」の操作手順⑳を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>⑳《ピボットテーブルのフィールドリスト》作業ウィンドウの「売上高」を《値》のボックスにドラッグします。</p>

頁	章	見出し	学習時の注意事項
別冊 P.22	第1回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題2「●散布図の作成」の操作手順④を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>④《グラフ》グループの《散布図》をクリックします。 ⑤《散布図》の《散布図(マーカーのみ)》をクリックします。 ⑥《デザイン》タブを選択します。 ⑦《グラフのレイアウト》グループの《その他》をクリックします。 ⑧《レイアウト 8》をクリックします。</p> <p>※Excel2010 では、グラフを作成すると凡例が表示されます。また、縦軸の目盛り線は表示されません。 ※グラフのレイアウトのレイアウト8を選択するのは、縦軸の目盛り線を表示するためです。</p>
別冊 P.23	第1回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題2「●軸ラベルの設定」の操作手順②～⑤を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>②《レイアウト》タブを選択します。 ③《ラベル》グループの《軸ラベル》をクリックします。 ④《主横軸ラベル》をポイントします。 ⑤《軸ラベルを軸の下に配置》をクリックします。</p>
別冊 P.23	第1回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題2「●軸ラベルの設定」の操作手順⑩～⑳を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>⑩《ラベル》グループの《軸ラベル》をクリックします。 ⑪《主縦軸ラベル》をポイントします。 ⑫《軸ラベルを水平に配置》をクリックします。</p> <p>以降、⑬から続けて操作してください。</p> <p>⑯～㉓の手順を削除してください。</p> <p>以降、㉔から操作を続けてください。</p>
別冊 P.23	第1回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題3「●凡例の非表示」では、次の操作を行ってください。</p> <p>①グラフが選択されていることを確認します。 ②《レイアウト》タブを選択します。 ③《ラベル》グループの《凡例》をクリックします。 ④《なし》をクリックします。</p>

頁	章	見出し	学習時の注意事項
別冊 P.23	第1回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題 2「●値軸の設定・目盛線の表示」の操作手順④～⑮を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>④《軸の書式設定》ダイアログボックスの左側の一覧から《軸のオプション》を選択します。</p> <p>⑤《軸のオプション》の《最小値》が「0.0」になっていることを確認します。</p> <p>⑥《最大値》の固定をオンにし、「70000」と入力します。</p> <p>⑦《目盛間隔》の固定をオンにし、「35000」と入力します。</p> <p>⑧縦軸を選択します。</p> <p>※《軸の書式設定》ダイアログボックスが縦軸の設定に切り替わります。</p> <p>⑨《軸の書式設定》ダイアログボックスの左側の一覧から《軸のオプション》を選択します。</p> <p>⑩《最小値》の固定をオンにし、「45」と入力します。</p> <p>⑪《最大値》の固定をオンにし、「65」と入力します。</p> <p>⑫《目盛間隔》の固定をオンにし、「10」と入力します。</p> <p>⑬《閉じる》をクリックします。</p>
別冊 P.27	第2回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題 1「●ピボットテーブルの作成(メーカーごとの売上高・売上原価の集計)」の操作手順③を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>③《テーブル》グループの《ピボットテーブルの挿入》をクリックします。</p>
別冊 P.27	第2回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題 1「●ピボットテーブルの作成(メーカーごとの売上高・売上原価の集計)」の操作手順⑧を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>⑧《ピボットテーブルのフィールドリスト》作業ウィンドウの「商品コード」を《行ラベル》のボックスにドラッグします。</p>
別冊 P.27	第2回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題 1「●ピボットテーブルの作成(メーカーごとの売上高・売上原価の集計)」の操作手順⑩の※を、次の内容に置き換えてください。</p> <p>※ドラッグ中、灰色の線が表示され、移動先が確認できます。</p>
別冊 P.28	第2回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題 2「●ピボットテーブルの作成(商品ごとの売上高の集計)」の操作手順④を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>④《テーブル》グループの《ピボットテーブルの挿入》をクリックします。</p>
別冊 P.28	第2回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題 2「●ピボットテーブルの作成(商品ごとの売上高の集計)」の操作手順⑨を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>⑨《ピボットテーブルのフィールドリスト》作業ウィンドウの「商品名」を《行ラベル》のボックスにドラッグします。</p>
別冊 P.29	第2回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題 2「●複合グラフの作成(パレート図)」の操作手順④を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>④《グラフ》グループの《縦棒》をクリックします。</p>

頁	章	見出し	学習時の注意事項
別冊 P.29	第2回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題2「●複合グラフの作成(パレート図)」の操作手順⑧～⑮を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>⑧《現在の選択範囲》グループの《グラフの要素》の▼をクリックし、一覧から「系列」構成比率累計(%)」を選択します。</p> <p>⑨《現在の選択範囲》グループの《選択対象の書式設定》をクリックします。</p> <p>⑩《データ系列の書式設定》ダイアログボックスの左側の一覧から《系列のオプション》を選択します。</p> <p>⑪《使用する軸》の《第2軸》をオンにします。</p> <p>⑫《閉じる》をクリックします。</p> <p>⑬《デザイン》タブを選択します。</p> <p>⑭《種類》グループの《グラフの種類の変更》をクリックします。</p> <p>⑮左側の一覧から《折れ線》を選択します。</p> <p>⑯《折れ線》の《折れ線》をクリックします。</p> <p>⑰《OK》をクリックします。</p>
別冊 P.29	第2回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題2「●グラフタイトルの入力」では、最初にグラフタイトルを追加する必要があります。</p> <p>グラフタイトルを追加する場合は、次の操作を行ってください。</p> <p>①グラフが選択されていることを確認します。</p> <p>②《レイアウト》タブを選択します。</p> <p>③《ラベル》グループの《グラフタイトル》をクリックします。</p> <p>④《グラフの上》をクリックします。</p> <p>以降、操作手順①から操作を続けてください。</p>
別冊 P.29	第2回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題2「●凡例の非表示」の操作手順②～⑤を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>②《レイアウト》タブを選択します。</p> <p>③《ラベル》グループの《凡例》をクリックします。</p> <p>④《なし》をクリックします。</p>
別冊 P.29	第2回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題2「●軸ラベルの設定」の操作手順②～⑮を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>②《レイアウト》タブを選択します。</p> <p>③《ラベル》グループの《軸ラベル》をクリックします。</p> <p>④《主縦軸ラベル》をポイントします。</p> <p>⑤《軸ラベルを水平に配置》をクリックします。</p> <p>以降、⑥から続けて操作してください。</p> <p>⑨～⑮の手順を削除してください。</p> <p>以降、⑯から続けて操作してください。</p> <p>⑰の手順を削除してください。</p> <p>⑰の下の※は、テキストどおりに操作してください。</p>
別冊 P.29	第2回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題2「●値軸の設定」の操作手順④～⑧を、次の手順に置き換えてください。</p>

頁	章	見出し	学習時の注意事項
			<p>④《軸の書式設定》ダイアログボックスの左側の一覧から《軸のオプション》を選択します。</p> <p>⑤《最大値》の固定をオンにし、「100」と入力します。 ※最大値を「100」に変更すると、自動的に目盛間隔が「10」に変更されます。</p> <p>⑥《閉じる》をクリックします。</p>
別冊 P.34	第3回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題 1「●ピボットテーブルの作成(支店ごとの売上高の集計)」の操作手順③を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>③《テーブル》グループの《ピボットテーブルの挿入》をクリックします。</p>
別冊 P.34	第3回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題 1「●ピボットテーブルの作成(支店ごとの売上高の集計)」の操作手順⑧～⑪を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>⑧《ピボットテーブルのフィールドリスト》作業ウィンドウの「日付」を《列ラベル》のボックスにドラッグします。</p> <p>⑨セル【A4】を選択します。 ※列ラベルエリアの「日付」のセルであれば、どこでもかまいません。</p> <p>⑩《オプション》タブを選択します。</p> <p>⑪《グループ》グループの《グループフィールド》をクリックします。</p>
別冊 P.34	第3回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題 1「●ピボットテーブルの作成(支店ごとの売上高の集計)」の操作手順⑱を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>⑱《ピボットテーブルのフィールドリスト》作業ウィンドウの「支店名」を《行ラベル》のボックスにドラッグします。</p>
別冊 P.34	第3回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題 1「●ピボットテーブルの作成(支店ごとの売上高の集計)」の操作手順⑳を、次の内容に置き換えてください。</p> <p>※ドラッグ中、灰色の線が表示され、移動先が確認できます。</p>
別冊 P.34	第3回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題 1「●ピボットテーブルの作成(支店ごとの売上高の集計)」の操作手順㉓を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>㉓《ピボットテーブルのフィールドリスト》作業ウィンドウの「売上高」を《値》のボックスにドラッグします。</p>
別冊 P.35	第3回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題 2「●折れ線グラフの作成(Zチャート)」の操作手順④を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>④《グラフ》グループの《折れ線》をクリックします。</p>
別冊 P.35	第3回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題 2「●グラフタイトルの入力」では、最初にグラフタイトルを追加する必要があります。 グラフタイトルを追加する場合は、次の操作を行ってください。</p> <p>①グラフが選択されていることを確認します。</p> <p>②《レイアウト》タブを選択します。</p> <p>③《ラベル》グループの《グラフタイトル》をクリックします。</p> <p>④《グラフの上》をクリックします。</p>

頁	章	見出し	学習時の注意事項
			以降、操作手順①から操作を続けてください。
別冊 P.35	第3回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題2「●凡例の配置」の操作手順②～⑤を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>②《レイアウト》タブを選択します。 ③《ラベル》グループの《凡例》をクリックします。 ④《凡例を右に配置》をクリックします。</p> <p>※Excel2010 では、初期の状態但凡例がグラフの右に配置されていません。</p>
別冊 P.36	第3回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題 2「●値軸の設定(単位:千円)」の操作手順④～⑨を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>④《軸の書式設定》ダイアログボックスの左側の一覧から《軸のオプション》を選択します。 ⑤《表示単位》の▼をクリックし、一覧から《千》を選択します。 ⑥《表示単位のラベルをグラフに表示する》がオンになっていることを確認します。 ⑦《閉じる》をクリックします。</p>
別冊 P.36	第3回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>問題2「●表示単位ラベルの設定」の操作手順⑦～⑪を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>⑦《表示単位ラベルの書式設定》ダイアログボックスの左側の一覧から《配置》を選択します。 ⑧《文字列の方向》の▼をクリックし、一覧から《横書き》を選択します。 ⑨《閉じる》をクリックします。 以降、⑫から操作を続けてください。</p>

以上